

所 属 鳥取県漁業協同組合（青谷支所）

氏 名 みやわき まさや  
宮脇 正也（45歳）

船 名 だいにわかみやまる  
第二若宮丸 4.9トン

漁業種類 刺網、かご網、釣り



#### ～青谷支所の若きエース～

サラリーマンとして都会で12年勤務した後、結婚を機に漁業研修を受けて父親と同じ漁師の世界に飛び込んだ。なぜかと尋ねると、「自分の腕次第で稼げるところがいいと思った」と笑って話す。言うは易し、行うは難し。しかし、青谷支所でトップクラスの水揚げを誇る宮脇さんは、有言実行を貫く熱い男である。

そんな宮脇さんは、会社で組織に縛られて働くことに息苦しさを感じていたそう。「海が好きだし、漁師は好きな時に好きなようにできる」と語りながら、潮騒を聴きながら煙草をふかす。大好きな海で、自分の意志で仕事ができる漁師でいることそのものが、いつも笑顔で明るい宮脇さんの原動力になっていると感じた。

刺し網やかご網漁をはじめ、年間を通して様々な漁をこなす宮脇さんは、青谷支所の若きエースとなった今でも新たな技術の習得に余念がない。将来の目標について「生涯現役」と話すその言葉には、揺るぎない裏付けがあった。

#### ～本当は家族想いのお父さん～

家族の話になると、少しだけぶっきらぼうになる宮脇さん。でもなんだか嬉しそう。聞いてみると、照れくさそうに休みの日は家族と出かけるんだと教えてくれた。確かに、取材の日も子どもをプールに送迎しないと、と話していた。心優しい海の男は、家庭でもよきお父さんなのであった。

（文責：徳安 理敬）